

# Stand UP!

2016年2月24日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 26 編集責任者 情 宣 部

## 職場の状況本当に分かってます？

荷物はあるのに運ぶ手段(機関車、貨車、コンテナ)が無い状況が職場では続出(特に繁忙期)している。大幅な列車遅延の中、なんとか列車を仕立てても運転士が足りずに発車できない状態も見受けられる。稼ぎたくても稼げる状態ではないのに収入拡大を強く押し出す会社は、本末転倒である！それなのに会社はこの努力に報いるどころか『賃金カット』という形で責任を押し付けてきた(JRカード廃止、定期昇給半年凍結、祝日手当の廃止、旅費日当の一部廃止、都市手当の級地保障廃止・・・)。

## 『働き度の向上』も実質的な賃下げだ！

荷物はあるのに運べない状況が続いているのは誰の責任か？要員が足りないのに新規採用を停止したのはなぜか？職場では満足な休みも取れず、荷物を運びたくても不十分な設備の中、それでも安定した貨物輸送の為に出来る事を必死に100%以上やってきた！にも関わらず、もしもまた前段のような更なる『賃金カット』を考えているならば断固として許すことはできない！！

**職場に落ち度は全くない!!!**  
**経営陣は今春聞こそ誠意を見せろ!!!**  
**全職場から怒りの声を挙げていこう!!!**